

令和4年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立栗原小学校	校長	石川 順雄	生徒指導主事	渡邊 良平
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名	『スマイル活動～積極的生徒指導による学校づくり～』
-------	---------------------------

取組における育てたい資質・能力					
-----------------	--	--	--	--	--

主体性・自主性		組織力		マネジメント力	
進んで取り組み、動く力	1	協力・分担して取り組む力	2	反省し、改善する力	3

取組のねらい					
--------	--	--	--	--	--

児童が自ら企画・運営し、学校全体を明るく楽しくする取組を行う。キーワードは「スマイル（笑顔）を増やす」とし、積極的生徒指導を行うことで、安心・安全な学校づくりを目指す。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『スマイルを増やす』
----------	-----------------------

<ul style="list-style-type: none"> ・スマイル遠足・・・児童会が発案、企画・運営を行い、全校遠足を実施した。行き先、活動グループ、おやつの時間、ゴミ拾いタイム等、児童が内容を考え、主体的に行動した。児童会役員だけでは運営不可能なこともあり、縦割り班長会（スマイル班長会）のメンバーに協力を依頼し、高学年が中心になって企画を実現させた。 ・スマイル放送局・・・スマイル班長会が放送局を立ち上げ、楽しい給食放送や音楽放送、動画 VTR を作成し、放送を継続した。現在は児童会が引き継ぎ、音楽放送が続いている。 ・スマイルビンゴ大会・・・スマイル班長会が全校児童を対象にビンゴゲーム大会を実施した。第1回大会は、運営について反省点が出され、再度検討会を行い、修正・改善して第2回を実施した。その後、改善を繰り返し、合計6回大会を実施し、児童のスマイルを獲得した。全て手作りで実施できた。 ・スマイル宝探し・・・スマイル班長会が企画し、実現した。「1年生に学校内の施設をしっかりと理解してほしい。」という願いのもとに、学校内に宝を隠し、ウォークラリー形式で校内散策を実施した。クイズや制限時間も設定し、表彰もスマイル班長会が実施した。集会活動の時間としてカウントした。 ・シークレットパーティー・・・スマイル班長会が呼びかけ、ハロウィンに因んだ仮装をしたり、ダンス大会を開いたりした。自由参加で募集し、休憩時間に体育館で開催した。ポスターを作って宣伝したり、パーティーの様子を写真で紹介したりするなど、広報活動も主体的に実施できた。 ・スマイルボウリング大会・・・「ボウリングを学校でしたい」という児童の願いを実現するために、スマイル班長会が企画した。6年生が学校行事等で忙しく、準備に時間を要したが、スマイル班長会は6年生全体に協力を依頼し、有志が協力して実現した。「楽しかった！」という参加者の声を聞いて、6年生は大変喜んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が考えたアイデアを採用する。 ・おやつについて代表委員会を開催し、学級から意見をもらった。 ・楽しく活動したことが広がり、放送局が複数できた。 ・実施し、改善し、また実施することを繰り返し、ブラッシュアップさせた。 ・児童が学校全体に働きかけ、みんなの笑顔を作り出すことができた企画となった。 ・持ち込める仮装、手作りの仮装をモットーにして宣伝を実施した。 ・児童の願いを実現することに特化した企画であった。時間はかかったが、達成感も大きかった。
--	--

取組の成果と課題

○児童アンケートでは、肯定的評価 91%を達成。低学年からは「継続してほしい」という願いが多い。
 ○児童が主体的に考え、実行し、反省点を集めて修正するという一連の学習活動が成立した。また、仲間と協力しなければ実現できない状況を乗り越えるため、組織力が磨かれたことも成果。
 △児童の中には「とても大変で、しんどかった。」という意見もあり、主体性を育むねらいが十分に達成できたとはいえない面もある。委員会を活用して分担することも検討している。